

1. 科目名 (単位数)	心理学研究法演習 I (2 単位)	3. 科目番号	PSMP3371
2. 授業担当教員	近藤 重晴 *卒業論文作成のための指導を受ける授業です。		
4. 授業形態	演習 (一部講義)	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係	卒業研究を希望する場合は必ず履修すること。 4年次には「心理学研究法演習 II」を履修すること。		
7. 講義概要	心理学の基礎・応用分野における講義にて学習した内容を踏まえながら、心理学における主要文献の講読を行うとともに、文献内における重要ポイントを読み解き、他者に説明する力を身につける。この基礎として、学生自身が心理学の関連文献を検索することも学習の課題とする。さらに、各文献内における問題点を見つけ出し、どのような心理学的研究を行うことによって、その問題を解決することができるのかを考察する。演習形式により、最終的には、心理学研究における課題発見から研究計画までの流れを理解する。		
8. 学習目標	研究論文を作成するための文献研究を中心に学習し、自らの課題を発見し、研究計画を立てる。詳細については、担当教員が授業の中で提示する。		
9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題	担当教員が授業の中で提示する。		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】 白井利明・高橋一郎著『よくわかる卒論の書き方 第2版』ミネルヴァ書房、2013。 *その他については、担当教員が授業の中で提示する。		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 1.研究論文を作成するための文献研究ができる 2.文献研究の結果を元に、研究テーマを発見することができる 3.研究計画を立てることができる ○評定の方法 学則で決められた単位取得の条件を満たしていること(3/4以上の出席)を前提として、担当教員の課した課題(先行研究レビューのレポート、卒業論文のための研究計画書等)の提出(100%)をもって成績を評価する。		
12. 受講生へのメッセージ	担当教員が授業の中で提示する。		
13. オフィスアワー	原則週に2コマを第1回の講義の際に指示をする。		
14. 授業展開及び授業内容			
担当教員	授業内容		
近藤 重晴	【授業概要】はじめに、文献の集め方・読み方のオリエンテーションを行う。次に、自分が興味関心のある文献を探し、授業で発表してもらい、皆で検討する。後半では、自分の関心のある研究テーマを絞り込み、卒業論文を書くことを前提にして、研究計画を立て、研究概要を書けるような力を身につけてもらう。 【研究領域】学校臨床心理学・カウンセリング・不登校 等 【受講者へのメッセージ】自分の担当する文献については徹底的に読み込み、必要に応じて調べて、皆の質問に答えられるようにしておくこと。本授業を通して、研究をすることはどのようなことをすることなのか、十分に理解を深めること。		